

9/29
9/29

元助役へ資金提供建設会社

売り上げ5年で6倍

関電金品受領

関西電力の経営幹部ら
が、関電高浜原発が立地す
る高浜町の元助役森山栄治
氏（今年三月に九十歳で死
去）から多額の金品を受領
していた問題で、森山氏に
資金提供した同町の建設会
社が、二〇一三年八月期か
らの五年で売り上げを約六
倍に伸ばしていたことが
分かった。この間は関電が
各原発の再稼働に向け、新

規制基準に対応させるため
の安全対策工事を進めてお
り、建設会社は森山氏の影
響力を背景に事業を拡大
したとみられる。●面参
照
建設会社は一九八一年に
設立された吉田開発。信用
調査会社によると、吉田開
発は二〇一三年八月期の売
上高が三億五千万円だった
が、その後、毎年売り上げ
を伸ばし、一五年八月期に
十億円を突破。一八年八月
期では二十一億八千万円に
達した。工事経歴書による
と、一五年以降は少なくとも
も売り上げのおよそ半分は
関電関係で、敷地造成や建
設などの工事だった。
関電は新規規制基準に対応
して一四年以後に申請した
安全対策工事で、高浜原発
には、未完了のものも含め
て約五千四百億円を投入。
大飯、美浜原発を含めると

計一兆円を超えている。
元高浜町議によると、森
山氏と吉田開発は約二十年
前、原子力関係の交付金が
使われた同町内の土木工事
をきっかけに関係を強め
た。元町議は森山氏につい
て「建設会社との結び付き
が強く、原発事業の業者選
びへの影響力があった。退
職後もその影響力は変わら
なかった」と指摘してい
る。
吉田開発は森山氏に対

「社長就任以降もらわず」

関電会長一問一答

共同通信の取材に応じた
関西電力の八木誠会長の主
な一問一答は次の通り。
— 森山栄治氏から物品を
受け取ったのはいつごろ
か。
「原子力事業本部に在籍
していた二〇〇六―一〇年
に物品を受け取り、お預か
りしていた。常識を超える
物品を持ってこれ、当然
お断りしたが、時に激高さ
れた。社長になって以降は
一切もらっていない」

「ある程度開示しないと
理解されない」と考えてい
る。全部は難しいが、開示
していかないといけないと
思っている」
— 調査期間を広げないの
か。
「幅を広げて調査するこ
とを検討するが、それ以前
の調査は辞めている人もお
り難しい」
— 豊松秀己元副社長が森
山氏から受け取った額が最
も多いと言われる。
「原子力事業本部に在籍期
間が長く、お会いする頻度
は高かったため」